

|   |   |   |                           |             |
|---|---|---|---------------------------|-------------|
| 日本工学院八王子専門学校  | 開講年度  | 2019年度(平成31年度)                                  | 科目名                       | アナライズ1      |
| <b>科目基礎情報</b>   |   |   |                           |             |
| 開設学科  | ミュージックアーティスト科   | コース名  | サウンドクリエイターコース             | 開設期<br>前期   |
| 対象年次  | 1年次   | 科目区分  | 必修                        | 時間数<br>30時間 |
| 単位数   | 1単位   | 授業形態  | 実習                        |             |
| 教科書/教材  | Protools 101  |   |                           |             |
| <b>担当教員情報</b>   |   |   |                           |             |
| 担当教員  | 柴 徳昭  | 実務経験の有無・職種                                      | 有・作曲エンジニアリング              |             |
| <b>学習目的</b>   |   |   |                           |             |
| <p>楽曲制作にはメロディやコードや理論の他にも、いかにその曲を魅力的に聴かせるかという、演奏の録音やエンジニアリングの部分も不可欠となる。また外部のエンジニアやプレイヤーにデータを渡す際のデータの取りまとめなども重要になってくる。この授業では、AVID社のProToolsというDAWソフトの操作を覚えることを基本として、今後音楽活動で必要になってくるレコーディング・ミックス・マスタリング・他プレイヤーとの連携のためのノウハウなどを理解し実際に操作できるようになることを目的とする。</p> |   |   |                           |             |
| <b>到達目標</b>   |   |   |                           |             |
| <p>作曲で仕事をしていくためには、自分の曲にギターやボーカルといったプレイヤーの演奏を録音し、自身の楽曲を市販されている既存楽曲に近いレベルにまでクオリティを上げるためのプラグインエフェクトを理解し、より楽曲の魅力を高めるミキシングの技術を習得する必要がある。最終的に曲を発表するところまで自分でコントロールする技術とノウハウを身につける。またAVIDの「ProTools101」認定試験に合格しProToolsの一通りの基本操作を行えることを到達目標とする。</p>             |   |   |                           |             |
| <b>教育方法等</b>  |   |   |                           |             |
| 授業概要  | <p>まずはProToolsというDAWソフトの基本的な操作方法を習得するところから入り、同時にこれから扱っていく「音」に関しての総合的な理解を深める。コンピュータを使用して音を扱う際の技術的な部分も学習していく。また、実際のレコーディングの方法、ソフトウェアインストゥルメントを使ったMIDIの扱いや、各種プラグインを何のためにどう使うか、具体的なミキシングの方法についても学習していく。</p>   |   |                           |             |
| 注意点   | <p>授業で使う教材を配布した後、講師の説明と実演を見てから、各自が自分のMacで作業をする。講師の説明をよく聞いてノートをとること。基本の操作は一年を通して何回も行うので、そのときに自身のノートを参照できるようにわかりやすくまとめること。またそれぞれの作業終了後に理解度をチェックするため成果物を提出する。この提出物が評価をする際の対象となるので提出日に欠席しないこと。またヘッドホンや変換端子などは各自用意すること。この授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p> |   |                           |             |
| 評価方法  | 種別  | 割合  | 備 考                       |             |
|   | 試験  | 30%   | 試験を評価する                   |             |
|   | 小テスト  | 10%   | 授業内容の理解度を確認するために実施する      |             |
|   | 提出物   | 30%   | 授業内容の理解度を確認するために実施する      |             |
|   | 成果発表<br>(口頭・実技)   | 10%   | 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する |             |
|   | 平常点   | 20%   | 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する    |             |
| <b>授業計画(1回～15回)</b>   |   |   |                           |             |
| 回   | 授業内容  | 各回の到達目標   |                           |             |
| 1回  | 音の仕組みとデジタル変換  | 音の仕組みとアナログデジタル変換を理解する。                          |                           |             |
| 2回  | ProToolsの起動と終了  | 起動時に作成される各種ファイルの役割の理解。テンポや拍子などの基本的な操作を行うことができる。 |                           |             |
| 3回  | 4種類のモード   | SHUFFLE/SLIP/SPOT/GRIDの各モードを理解し操作できる。           |                           |             |
| 4回  | 6種類のツール   | ズーム/トリム/セレクト/グラバー/スクラバー/ペンシルツールを理解し操作できる。       |                           |             |
| 5回  | MIDIデータの編集(1)   | MIDIの仕組みを理解する。音源を複数トラックに立ち上げ、音色を選ぶことができる。       |                           |             |
| 6回  | MIDIデータの編集(2)   | MIDIエディタでノートを入力し編集することができる。                     |                           |             |
| 7回  | オーディオの録音(1)   | オーディオインターフェイスからProToolsにオーディオを取り込むことができる。       |                           |             |
| 8回  | オーディオの録音(2)   | バッファサイズやディスク使用量の確認と設定ができ、またプレイリストを理解する。         |                           |             |
| 9回  | ボーカルセレクト  | 複数のテイクから最良のテイクを作ることができる。コンピング作業を理解できる。          |                           |             |
| 10回   | 波形編集  | エラスティックオーディオやワーブ機能、タブアウトランジェントを理解し波形編集に使用できる。   |                           |             |
| 11回   | ミキシングの基本  | ミックスウィンドウの各機能を理解し、メモリーロケーションを使える。               |                           |             |
| 12回   | プラグインエフェクト(1)   | イコライザーの仕組みと、それぞれの楽器の音の特徴を理解し的確に音質調整ができる(1)      |                           |             |
| 13回   | プラグインエフェクト(2)   | イコライザーの仕組みと、それぞれの楽器の音の特徴を理解し的確に音質調整ができる(2)      |                           |             |
| 14回   | プラグインエフェクト(3)   | コンプレッサーの仕組みと、それぞれの楽器の音の特徴を理解し的確に音質調整ができる(1)     |                           |             |
| 15回   | プラグインエフェクト(4)   | コンプレッサーの仕組みと、それぞれの楽器の音の特徴を理解し的確に音質調整ができる(2)     |                           |             |